

議会広報広聴委員会

令和5年11月24日(金)
議会運営委員会終了後から
第4委員会室

- 【出席者】村武委員長、村木副委員長、
肥後委員、大谷委員、三浦委員、沖田委員、川上委員、上野委員、
西田委員、川神委員
- 【議長団】笹田議長
- 【事務局】下間局長、村山書記、小寺主事
-

議題

- 1 はまだ議会だよりVol. 72について……………資料1-1, 1-2
 - (1) ページレイアウト
 - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
 - (3) その他

- 2 はまだ議会だより mini について……………資料2
 - (1) 第26号掲載内容及び原稿担当
 - (2) その他

- 3 ぎかいポストに寄せられた意見の振り分けについて……………資料3
 - (1) 振り分け先の確認

- 4 申し送り事項の確認について……………資料4
 - (1) はまだ協働学舎ファンタスから依頼されている大学生との意見交換会について
 - (2) SNSを活用した情報発信について
 - (3) その他

- 5 その他

NO	ぎかいポストに寄せられた意見	所管委員会(案)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・減税。古い規制は撤廃してください。 ・市民税（地方税）も下げてください。 <p>現状、消費税10%で、8%の軽減税率もありますが、物価上昇により生活が苦しい状況です。減税が必要です。古い規制は廃止して減税してください。また、大企業と高額所得者は税金が少ない状態です。これに対しては、税率アップが必要と考えます。法人税アップが必要です。税金の基本原則は、応能負担と思います。税金をたくさん払えるお金持ちはたくさん税金を支払う必要があります。消費税に関しては真逆のことが起きています。所得の低い人が重税に苦しみ、金持ちはちっとも負担しない。税制改正、行政改革が必要です。軽減税率（外国のように）もぜひ採用してもらいたいです。国は消費税、国税を上げないと思いますが、議員の皆様、減税のことどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>	福祉環境
2	<p>史跡にある緑の看板が全て知りたいです。緑の看板とは、例えば成田郷三角田記念碑にある三隅町教育委員会の看板のことです。パンフレットなどで、全ての看板の一覧が見たいです。</p>	総務文教
3	<p>ケーブルテレビで議会を拝見していますが議員の中で、いねむりをしている方がいます。市議会は、小学生以下だと思います。</p>	議会運営

議会広報広聴委員会 申し送り事項

1 はまだ協働学舎ファンタスから依頼されている大学生との意見交換会について

はまだ協働学舎ファンタスから大学生との意見交換会の開催について相談があり、当委員会が窓口となって全議員を対象として現在ファンタスと島根県立大学とで意見交換会の内容を精査している。引き続きファンタスと調整され、意見交換会の開催をお願いしたい。

2 SNS を活用した情報発信について

SNS を活用した情報発信について当委員会で協議しているが導入には至っていない。SNS 活用のメリット、デメリットを精査し、導入の是非について引き続き検討をお願いしたい。

はまだ協働学舎ファンタスから依頼されている大学生との意見交換会について

このことについて、はまだ協働学舎ファンタスから以下のとおり意見交換会について開催案の提出がありました。

1. 内容

学生 15 名と議員 15 名で 3 グループ（学生 5 名、議員 5 名）に分かれてざっくばらんな意見交換会を実施。グループ毎にテーマを決めても良いし、テーマ無しとしても良い。意見交換会後に各グループから発表を行う。

2. 開催希望日

1 月 17 日（水） 10 : 40～12 : 10

1 月 24 日（水） 10 : 40～12 : 10

1 月 31 日（水） 10 : 40～12 : 10

3. 大学生参加人数

約 15 名

4. 開催場所

まちなか交流プラザ

5. 協議事項

- ・ 開催日程
- ・ 議員の出席人数
- ・ 選出方法
- ・ テーマ

議会広報広聴委員会 活動方針 (2023-2025)

2023年11月24日

議会広報広聴委員会
委員長 村武まゆみ

これまでの主な取組み

- 1 はまだ市民一日議会の開催(3回)
- 2 議会だよりのリニューアル
- 3 議会だよりのminiの発刊
- 4 地域井戸端会議の開催(28箇所)
- 5 地域協議会との意見交換開催
- 6 大学生と連携活動

活動方針

今まで実施してきた事業・活動をブラッシュアップしながら、前委員会から申し送りのあった事項を検討し、特に若者を意識した活動を推進していく。

1.広聴：市民の声を聞き、政策に反映させるための情報収集

①情報収集方法の整理

- はまだ市民一日議会の継続を踏まえ、内容やルールの見直し
- 地域井戸端会議の開催回数や内容の検討
- 大学生などとの意見交換（申し送り事項）

②反映度の向上

- 政策討論会の活性化

2. 広報：収集した情報をどのように扱ったかを知らせるための情報提供

① 情報提供の整理

- 議会だよりminiの存在アピールの推進
- 浜田市議会HPに各議員のウェブサイトやSNSのリンク掲載の推進
- 浜田市議会HPのリニューアルの検討
- 議会だよりの見直しの検討

② 新たな情報提供

- SNSを使った情報発信の検討（申し送り事項）

3.主権者教育の推進

○議会による主権者教育やシティズンシップ教育の推進

幼児・小学生・中学生・高校生の時から主権者教育をはじめ、ふるさと郷育や地域体験等、様々な機会を通じて、一人ひとりが浜田市にとって大切な存在であり、将来、地域のために何が必要で、何が自分にできるかの気づきを持ってもらったり、まちづくりや政治、議会や議員の役割について関心を持ってもらったりすることが重要である。

このため、小中高生や大学生を対象とした模擬会議の開催や高校生による政策甲子園、教育現場に議員が直接出向いて講義する議会出前講座等の開催を検討されたい。

令和3年7月2日議会改革推進特別委員会資料より

- 若者(小中高大)との意見交換の場づくり
- 市議会見学の推進
- わかりやすく議会や政治について解説する 等

【2023-2025】

スローガン

“ミライへつながる議会”



【2019-2021】

“市民の声を第一に”
～聴くことから始めよう～

【2021-2023】

“議会をより身近に”
～双方向の関係構築～